

家畜体内受精卵移植(E T)に関する講習会の開催

牛の改良を進める上でE Tは、欠かせない技術です。平成23年度は、和牛及び乳牛の受精卵が300余頭に移植され、E Tにより生まれた和牛120頭が子牛せり市に上場されるなど、府内産牛の増頭にも貢献しています。

この技術の普及するため、府畜産課主催の講習会が当センターで9月10日から17日間開催され、講師を務めた当センター職員が、最新のE T技術を自家農場や農家の人工授精師に伝えました。受講者は、受精卵の処理や移植などの学科と実習を熱心に受講していました。



受精卵移植を繰り返し実習しました